

# 新しい価値の創造

技術革新に果敢に挑戦し、  
地球環境、医療・健康といった成長分野において、  
最先端の技術を活用することで社会に貢献します。

## 事業を通じた社会的課題解決への貢献

気候変動の緩和をはじめとする地球規模の環境問題への対応や医療の質向上、医療現場の負担軽減、健康・長寿に貢献するといった社会的課題にソリューションを提供します。

### CSRロードマップ目標

- 1 「グリーンイノベーション」「ライフイノベーション」分野に重点を置き、最先端の技術の活用によって、社会的課題の解決に貢献します

当社は、豊富な経験から培われた高い技術力によるエンジニアリング事業、部品加工や制御盤設計・製造・据付けまで一貫して行える機器事業および長年の経験で培われた設備保全事業の3事業を融合した新たなエンジニアリング技術を提供しています。

「エンジニアリング」事業は、プラント事業を中心に滋賀・愛媛・福井・石川に拠点を配し、設備の基本計画・設計から試運転・調整まで柔軟な発想と技術力で提案型ビジネスを展開しています。

機器「マニファクチュアリング」事業は、制御盤設計・製造や大型部品加工を主とし、お客様のご要求に力強く応えています。

設備保全「メンテナンス」事業は、東レ(株)の滋賀、瀬田、愛媛、石川の各事業場・工場の生産設備を全うな状態に保つことを主要命題とし、ここで培った技術・技能を一般外部のお客様へも提供しています。

絶え間のない技術進歩の中で、高度化・多様化するお客様のニーズにいち早くお応えするため、当社は、技術力と提案力の向上はもとより、「安全・防災・環境保全」「企業倫理・法令遵守」をはじめとするCSR意識と高い倫理観をもつ「人財\*」の育成に努め、社会貢献を目指す経営理念を具現化し、持続可能な企業集団として発展していきたいと考えています。

\*人財：人が財産との主旨から当社では「人財」と表記しています

## マネジメント

当社の中期経営課題では、「グリーンイノベーション(GR)事業拡大」と「ライフイノベーション(LI)事業拡大」を重要課題として取り上げ、東レ・東レエンジニアリンググループとの協働を通じて成長分野の事業拡大を強力に推進しています。

また、「成長国・地域での事業拡大(AE-II)」についても、エンジニアリング支援やテクニカルアドバイザーの現地派遣などを通じて東レ・東レエンジニアリンググループの海外プロジェクトに貢献しています。

## グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト

### グリーンイノベーション事業売上高

2017年度 目標 13 億円 ⇒ 実績 31.4 億円

東レグループは、「全ての事業戦略の軸足を地球環境に置き、持続可能な低炭素社会の実現に向けて貢献していく」という経営方針のもと、地球環境問題や資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な低炭素社会の実現に向けて貢献していくことを目指しています。また、以前から地球環境に貢献する製品、素材を提供してきましたが、2011年からは、重要性を増す地球環境問題に対応して「グリーンイノベーション(GR)事業拡大プロジェクト」を立ち上げ、取り組みを強化しました。

これを受けて、当社も、2014年度から、中期経営課題の柱として「グリーンイノベーション(GR)事業拡大」に積極的に取り組んでいます。

①省エネルギーの分野である自動車・航空機軽量化のための炭素繊維複合材料の事業拡大では、東レ(株)の炭素繊維とその複合材料であるCFRP関連製品を製造する設備や装置を(SDGs目標7) ②水処理事業の拡大では、東レ(株)の膜処理技術を利用した海水淡水化設備や工水上下水化設備を(SDGs目標6) ③さらにはバイオマス由来のセルロース糖化プラントやバイオエタノールプラント(SDGs目標12)などを設計・製作・施工しています。

また、④新エネルギー分野でも、太陽光発電装置(1MW未満)設置で実績を積み上げており(SDGs目標7)、より高性能で高品質な製品・施工技術をお客様にお届けできるよう「イノベーション」に取り組んでいます。

2017年度の当社グリーンイノベーション事業売上高は、東レ(株)向け大型案件の受注が好調であり31.4億円と目標値(13億円)を大幅に超過しました。

SDGs目標 3：すべての人に健康と福祉を  
SDGs目標 6：安全な水とトイレを世界中に  
SDGs目標 7：エネルギーをみんなに そしてクリーンに  
SDGs目標 12：つくる責任 つかう責任

### VOICE



愛媛施設事業部  
むらかみ たつや  
村上 達哉

#### GR事業の土台を支える誇り

愛媛施設事業部は、売上の8割以上が炭素繊維や水処理膜に関連する案件が占め、事業部のメンバーも、当社のグリーンイノベーション(GR)事業を支えていることに誇りをもって日夜、業務にいそしんでいます。具体的には炭素繊維や水処理膜の機器の製作から設備工事まで幅広くサポートしており、正にGR分野の土台を支えています。また、東レ(株)には炭素繊維製造工場が海外にも多くあり、海外向けの機器の据え付けや設備工事のTA(Technical Adviser)としても多くの人財を送り出し、日本で培った技術/知識を存分に発揮しています。機器の輸出に際しては、木枠梱包を可能な限りコンパクトに収めるなど、小さなことまで気を配り地球環境への配慮を欠かさぬようにしています。

## ライフイノベーション事業拡大プロジェクト

### ライフイノベーション事業売上高

2017年度 目標 6 億円 ⇒ 実績 7.3 億円

健康で自立した生活を維持するためのヘルスケアや、質の高い医療、負担の少ない医療の提供が、国際社会共通の課題となっています。

社会的課題の解決にはイノベーションが不可欠であることから、東レグループはその技術と事業基盤を生かし、健康・医療分野での社会的課題の解決を目指す「ライフイノベーション(LI)事業拡大プロジェクト」を2014年度から推進しています。

東レエンジニアリング(株)は東レ(株)が製造する注射剤や経口剤などの医薬品製造プラントの建設で培ってきた技術とノウハウを生かし、医療・ライフサイエンス分野でのLI事業に新たな価値を生み出しています。たとえば、化学原料から医薬品を合成する合成原薬、生薬からエキス分を抽出・乾燥した漢方エキス剤や、注射剤に代表される無菌製剤など多数のプラント建設の実績を積み重ねてきました。

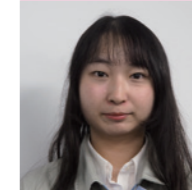
当社は、東レエンジニアリンググループの一員として、この医薬品製造プラント建設の一翼を担うとともに、独自でも北陸、西日本で医薬品製造プラントの事業を展開しています(SDGs目標3)。

医薬品製造プラントの建設ではバリデーションと呼ばれる検証作業を行うことが必要とされています。計画通りに設計・施工されたことを設計、製作、工事、試運転の各段階ごとに逐一確認し、信頼性の高い医薬品の製造設備を提供することで医薬品製造メーカーの信頼、そして人々の健康に貢献しています。

ライフイノベーション分野は、少子高齢化が加速する中、より多くの方が末永く健康で暮らすことができる社会を実現するために必要な重点事業分野であり、当社では医薬品製造プラント建設のほか、衛生・医療や食品分野などでも積極的に事業展開を図っていきます。

2017年度の当社ライフイノベーション事業の売上高は7.3億円(目標値：6億円)でした。

### VOICE



プラント事業部  
技術1部  
あおい あやこ  
衣斐 理子

#### LI事業拡大で 人々の健康と福祉を推進

月に1度、当社の浜田技術顧問主催のライフイノベーション(LI)勉強会に参加し、医薬品製造プラントの設計について学んでいます。配管内洗浄が必要な場合は、ハード面にて溜りの無い配管設計が必須であり、また医薬品製造プラントでは1つの設備で多品種を生産する機会が多く、その場合はソフト設計が複雑化していきます。

私は勉強会で学んでいくうちに、LI分野の設計に携わるためには、「ハードとソフト、どちらも設計できる人財になる」ことが必要だと感じ、自身の目標に掲げています。

これからのLI分野の事業拡大に向け、勉強会に参加するとともに医薬プラントや機器メーカーの展示会にも積極的に参加していきます。